



☆☆ ネットワーク通信 ☆☆

平成28年度（第1号）

この会報誌は、「魏志倭人伝のクニグニネットワーク」に加盟する3県11市町の文化財についての最新の諸情報をお知らせしています。また、展示や各種イベント等をご紹介した「おでかけカレンダー」もありますので、あわせて是非ご覧ください。

長崎県

(写真: 原の辻遺跡出土大陸・半島系土器 撮影: 牛嶋茂)



<シンポジウム「大海を渡り、一支国に至る。」開催のお知らせ>
原の辻遺跡は弥生時代の対外交流拠点として知られています。長崎県埋蔵文化財センターでは、韓国釜山博物館等と連携しながら研究を進めた結果、新たな交流の具体像が次々と判明してきましたのでその成果について熱く議論します。 入場無料!
(日時) 平成28年10月22日(土)13:00～15:30 壱岐市立一支国博物館
10月23日(日)13:30～16:00 長崎歴史文化博物館

長崎県・対馬市



【越高遺跡発掘調査】
越高遺跡(縄文時代早期末～前期前葉)を熊本大学とともに発掘調査します。9月10日から23日の期間で、朝鮮半島の隆起文土器が多数発見されている遺跡の実体を解明することを目指します。
みなさん、見学にお越し下さい。

長崎県・壱岐市



平成28年度 市内遺跡発掘調査事業において、古代における生産集落である串山ミルメ浦遺跡の発掘調査を10月より行います。
30年前の串山ミルメ浦遺跡の調査では、石組炉跡や貝殻を廃棄した土坑などが確認されており、亀トや骨製の漁撈具などが発見されています。

長崎県・壱岐市



平成28年度 市内遺跡発掘調査事業において、
国史跡壱岐古墳群の範囲内に築造された人羅古
墳の墳丘測量調査と石室内の構造調査を8月より
行います。

人羅古墳も壱岐古墳群を構成する古墳として、注目
されており、新たな調査成果が期待されます。

佐賀県



吉野ヶ里遺跡展示室企画展「石器が語る弥生の暮らし」

会期:平成28年6月25日(金)～9月16日(金)

場所:吉野ヶ里遺跡展示室(国営吉野ヶ里歴史公園内)

内容:吉野ヶ里遺跡から出土した弥生時代の石器等84
点を展示。石器の種類や用途、生産と流通、石器から
鉄器への転換などについて紹介。

佐賀県



吉野ヶ里歴史公園北口エリアが開園しました。

平成28年7月23日に吉野ヶ里歴史公園の北口が部分
開園しました。これまで歴史公園入口は、公園南側の
東口と西口のみでしたが、新たに北口ができたことで、
より利便性が高まりました。新しくなった吉野ヶ里歴史
公園を楽しんでください。

佐賀県・唐津市



唐津市双水にある久里双水古墳が平成28年4月28
日に佐賀県史跡に指定されました。

久里双水古墳は現在公園として整備され、墳丘や
石室のレプリカが見学ができるようになっています。

佐賀県・神崎市



登録有形文化財「福成歯科医院(旧古賀銀行神埼支店)」

の復原工事を平成27年度から2ヶ年計画で行っています。

耐震工事を施し、外観及び内部を創建当時の姿に戻すため、建造物の有識者や工事業者と定期的な会議を実施し復原方法や活用・公開の仕方を協議しています。

(※現在、外観は見えにくくなっています。)

福岡県



〈古賀市船原古墳遺物埋納坑出土遺物の科学的調査と修復〉

平成25年の発見以来、X線CTスキャナをはじめとする科学的調査で、国内初の金銅製歩揺付飾金具やガラス装辻金具・雲珠を発見してきました。現在、公開への修復作業を文化財整理・保存科学見学回廊からご覧いただけます。また、これまでの調査成果は当館のホームページにて紹介しています。

福岡県・飯塚市



周辺市町村と連携し、「遠賀川流域の古墳同時公開」を

10月15日・16日に開催。飯塚市では、川島古墳・小正西古墳(いずれも福岡県指定史跡)を公開します。

普段、見学できない古墳内部も公開しますので、ぜひ一度見学にお越しください。

写真は上空から見た川島古墳群

福岡県・春日市



【弥生の里かすが 奴国の丘フェスタ 2016】

9月24日(土)に、弥生時代のものづくり体験、資料館バックヤードツアーなど奴国体感イベントを行います。

家族で楽しめる風の丘コンサート(オカリナの和田名保子さん、ウクレレのコニシキさん)もあります。

福岡県・朝倉市



女男石護岸施設は、小石原川が西から南へと流れを
変える屈曲部に築造された長さ約130mの河川護岸と
河床におかれた捨石群からなる治水施設です。17世
紀初めに築造されたと考えられます。築造から400
年、改修を続けながら現役で使用される施設で、平
成28年3月に県指定史跡となりました。

福岡県・糸島市



弥生時代の硯が出土～三雲・井原遺跡

昨年度の発掘調査で、国内2例目の石製の硯が出
土。朝鮮半島の楽浪系土器を伴っています。伊都国
の一大率では、出入りする文物の検査の際、文書が
作られていたことが考えられます。日本での文字文
化の受容が伊都国で始まった可能性を示します。

福岡県・宇美町



国指定特別史跡「大野城跡」

大野城跡は、西暦665年につくられた日本最古の古
代山城です。城内の約80%が宇美町内にあります。
四王寺山を全長約8kmにも及ぶ長大な土塁や石垣
で囲んでいます。中でも、宇美町内にある百間石垣
は、全長約180mの立派なものです。近年の調査に
より、新たな城門や石垣など新発見が相次いでいま
す。また、城内から九州最古級の密教法具である独
鈷杵も見つかっています。
城内は自由に散策でき、宇美町内ではおすすめコ
ースを3コース設定しています。

福岡県・宇美町



国指定史跡「光正寺古墳」

糟屋郡内で最大最古級の前方後円墳です。築造年
代は3世紀後半頃で、邪馬台国などの国々について
記した中国の歴史書「魏志倭人伝」に登場する「不弥
国」の候補地として宇美町が注目される根拠となつた
古墳です。
現在は、史跡公園として整備されています。発掘調
査の出土遺物は、宇美町立歴史民俗資料館で展示
中です。